

病院のお仕事いろいろ

医師の負担を軽くし、
医療の質向上に繋げる

医療支援センター
メディカルクラーク(医師事務作業補助者)



私たちはメディカルクラーク(医師事務作業補助者)です。

徳島大学病院では医師や看護師のほか、様々な職種のスタッフが勤務しています。その中でも医師事務作業補助者という職種については、まだご存じではない方も多いのではないのでしょうか。

医師事務作業補助者は、医師が行う事務作業を補助するスタッフのことで、本院ではメディカルクラークと呼び、28名(7月末現在)が在籍しています。この職種は医師の事務作業の負担を軽減し、医師が診療に専念できることによって良質な医療が提供されることを目的としており、本院においては医師の指示の下、右記のような業務を行います。

徳島大学病院メディカルクラーク (医師事務作業補助者)の業務

- 診断書などの文書作成補助
- 診療記録(電子カルテ、検査オーダーなど)への代行入力、入力補助
- 医療の質向上に資する事務作業
- 行政上の業務 など

医師事務作業補助者には、特定の資格を有することは求められていませんが、やはり、業務には専門的な知識やスキルが必要です。厚生労働大臣が求める施設基準において、医師事務作業補助者を新たに配置してから6か月間の研修期間内に32時間以上の研修を実施することになっています。

さらに、研修を修了しても、診療現場で覚える専門的な知識も多く、新しい治療法などができれば、その都度把握する必要があります。本院の医師事務作業補助者は年齢も経歴も様々ですが、「病名や治療法を調べたり、分からないことを突き詰めたりするのが好きな人」が向いているといえるでしょう。スタッフの中には、医師から「どこで専門的知識を学んだのか」と驚かれることもあるそうです。また、他の職種にも言えることですが、患者さん

の治療や個人情報を取り扱う業務のため、間違いや、不用意な情報の取り扱いをしないよう細心の注意を払う必要があります。

このような医師事務作業補助者の業務ですが、支援を受ける医師からは、感謝を伝えられることも多く、やりがいを感じる場面があるようです。その他、診察時に医師の補助を行うことで診療終了時間が早まるなど、医師の負担軽減の効果が実感できるとのことでした。

今後、徳島大学病院ではさらなる医師の負担軽減・医療の質向上のため、医師事務作業補助者をさらに増やしていきたいと考えています。医療支援センターを担当する高橋医療支援係長からは「比較的新しい職種であるため、教育面を充実させて人材定着化を図り、人員増加を目指していきたい。」とお話いただきました。



事務室内の様子
ここでは診断書案などの文書を作成します。



診察室では、医師の隣でカルテ入力などを補助。



私たちと一緒に働きませんか?

4月から新しいユニフォームになりました。